

矢嶋 宣幸



日本リウマチ学会認定専門医/指導医/評議員・総合内科専門医・日本臨床疫学会臨床疫学認定専門家・医学博士・公衆衛生修士。

1999年、昭和大学卒業。昭和大学病院、がん感染症センター都立駒込病院にてリウマチ膠原病診療に従事。臨床研究リテラシー修得を目的に2014年10月、福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター、2016年4月、同大学病院臨床研究教育推進部へ異動。また、2015年4月、京都大学大学院社会健康医学系医療疫学分野修士課程へ進学し福原俊一先生に師事し、2017年3月公衆衛生修士を取得。2016年10月から昭和大学リウマチ膠原病内科助教、同11月から同講師に着任。2019年6月から昭和大学統括研究推進センター兼担。

社会活動は、日本リウマチ学会臨床研究推進委員会委員、日本リウマチ学会膠原病妊娠登録小委員会ワーキングメンバー、日本リウマチ学会ガイドライン委員会委員、日本リウマチ学会疫学・薬剤安全性小委員会委員、厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業））、自己免疫疾患に関する調査研究班 SLE 分科会研究協力者、日本臨床疫学会機関誌 *Annals of Clinical Epidemiology*(ACE) 編集委員等。特に、日本リウマチ学会臨床研究推進委員会委員として日本のリウマチ業界での臨床研究教育を推進するため臨床研究合宿立ち上げや地方会や総会での講演活動を行っている。さらに日本リウマチ学会膠原病妊娠登録小委員会ワーキングメンバーとして日本リウマチ学会が主導した初めての cohorts である SLE レジストリー (pleasure-J) 構築の事務局の一員として携わる。その他、京都大学公衆衛生大学院での授業や臨床研究勉強会（てらこ屋、會津藩校日新館「臨床研究デザイン塾」、日本臨床疫学会）でのファシリテーターとして幅広く臨床研究教育に関わっている。

科学研究費補助金 基盤研究 (B) (H28-31 年度)「電子診療情報と患者報告アウトカムを活用した SLE 診療の質の評価システム開発と検証」を研究代表者として取得し、我が国のリウマチ領域でははじめてとなる診療の質指標を開発した (*Modern Rheumatology*, 2019)。